

どうなんだより

令和5年度冬号

令和6年3月1日発行（通算第26号）
〈編集発行〉

渡島農業改良普及センター(事務局)
檜山農業改良普及センター
JA新はこだて農業生産法人
ネットワーク



株式会社 境田農産（今金町）

～ 家族で経営の安定化に取り組む1戸法人～



地域を担う

農地所有適格法人の横顔

所在地：今金町
設立：令和3年4月
代表者：境田 哲哉
従業員：2名
事業内容：大豆2ha、種子大豆2ha、
種子馬鈴薯3ha、てん菜3.5ha、
水稲（稲WCS）6ha、
牧草20ha、繁殖牛77頭、
育成牛40頭、肥育牛8頭

後継者の就農に合わせて畜産部門を規模拡大。
牛舎建設、肉用牛増頭の資金面での優位性を考慮し、法人化を決断。

法人経営のメリット

- (1) 資金面での信用力の向上。補助事業、税制面での優遇措置を受けやすい。
- (2) 社会保険など家族の福利厚生が充実が図られた。

法人運営のポイント

- (1) 家族経営であっても従業員としての自覚を持ち、会社の仕事を行っていることを心掛ける。
- (2) 役割分担による作業の効率化。

法人化を目指す農業者へ一言

家族経営で何も問題が無ければ法人化は必要ない。経営規模拡大による施設や土地の購入、新たな取り組みを行うにあたって法人化のメリットを感じられれば目指して欲しい。

☆道南地域農業経営セミナーを開催しました。

令和5年11月27日、「道南地域農業経営セミナー」が北斗市で開催され、農業者・関係機関約45名が参加しました。

講師に、北海道農業会議の佐藤氏と、(株)北海道アルバイト情報社の伊藤氏、石名坂氏を迎え、経営形態別の法人化の効果と課題や、近年特に大きな課題となっている雇用労働力の確保について、採用のポイントや募集の手段、上手くいっている事例をお話いただきました。

どちらも貴重なお話で、今後の農業経営を考えるよい機会となりました。

次年度の開催も企画します。皆様の積極的な参加をお待ちしています。

トピックス



集落営農や農業生産法人に関するお問い合わせは、最寄りのJAまたは普及センターまで。

編集事務局（渡島農業改良普及センター）
電話番号 0138-77-8242